



馬の学校

馬の学校通信

2007. 6 vol.26

発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6330-0406

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



夏のプログラム 参加者募集！！

ウマキャンプ (3泊4日)

日程 : 8月1日(水)~8月4日(土) 山梨・小須田牧場

対象 : 小学4年生~高校3年生 (定員 6名)

参加費 : ¥41,000 (現地集合・解散)

*大阪集合解散の場合、小学生 ¥50,000 中学生以上 ¥55,000

★お申し込みは、会員の皆さまは6月9日(土)から、一般の方は11日(月)から、電話・FAX(06-6330-0406)で事務局まで。
(今回はメールではお受けできませんのでご注意ください)

春のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (3/27~30)



いい笑顔です



春は馬の毛が抜けて大変

馬とのふれあいプログラム

(4/21・5/20)



ちょっぴりドキドキ・・・



首をさわりながら、ストレッチ



天気がいい日の乗馬は気持ちいい！ エサづくり中です



「ウマコンテスト」作品募集中！

①作文 400字以上 2000字以下 (原稿用紙に手書きかワープロ)

②絵 B4以内の大きさの画用紙を使用・画材は自由

③写真 サービス判 (デジタル写真も可)

対象 : 子どもから大人まで、どなたでも

賞品 : 応募者全員に、記念品を、

優秀賞、ユニーク賞として、馬グッズをプレゼント

応募先 : 馬の学校事務局 (作品タイトル、住所・氏名・年齢・電話番号を明記)

締切り : 2007年9月30日 結果発表 : 11月上旬

*応募作品は返却いたしません*応募作品の著作権は馬の学校に帰属します

室戸青少年自然の家でのプログラムについて

GWに予定していた高知・室戸青少年自然の家でのプログラムは、東京の大学所有だったポニーたちが大学に戻ったため、残念ながら中止となりました。これまで2回プログラムを行いました。ポニーたちの活躍と室戸青少年自然の家の皆様のご協力で、楽しい出会いがたくさんあり、新しいプログラムの可能性も見出すことができました。今後の馬の学校の活動に生かしていきたいと思っております。

ファミリープログラム (4/28)



みんなでエサを作りました



「こんにちは、よろしくね」



2006 年度会計報告

収入	(円)
2005 年度繰り越し	14,529
年会費・賛助会費	105,000
プログラム収入他	752,000
合計	871,529
支出	(円)
通信費	110,190
消耗品費	53,964
プログラム費	627,055
その他	5,938
合計	797,147

おすすめの本

『umacco—最後に働く馬たち』

小田聡子 新風舎

今はもう数少なくなった
人と共に山で働く馬たちの
写真集です。

かつては日本にもたくさ
んの働く馬たちがいました。

田を耕したり荷物を運んだり、……。東北には「曲がり屋」と呼ばれる、人と馬とが一緒に暮らす家があったほど、人ととても密接な関係がありました。山の仕事を通して人と馬とが信頼関係で結ばれている、とても優しい関係が、見る人の心を温かくしてくれます。



イギリス訪問報告 1

今回のイギリス行きの目的は、フォーチュンセンター (Fortune Centre of Riding Therapy) という施設を訪問するため。そこでは、16歳～25歳の特別な支援を必要とする生徒を対象に、3年間の寮生活を通して、馬事を基礎としたカリキュラムを用いて、社会の中で生活するためのスキルを教えています。日本で言えば、専門学校的位置づけとなります。実は10年前にも3ヶ月ほど滞在して勉強させてもらったのですが、新たな取り組みもあり、いろいろと学ぶことができました。一つは、国が作成した障害を持つ人々のためのカリキュラム (読み書き・計算) に基づき、それぞれの生徒について個別目標を立て、馬との関わりの中や、生活全般を通して教育をしていく、ということです。45人の生徒を縦割りして6つのグループに分けて、グループティーチャーを中心に、学習指導者、作業療法士、理学療法士等がチームでかかわり、きめ細かい指導が行われていました。



担当馬の世話から1日が始まります



毎日乗馬の時間があります



馬に関する勉強の時間

編集後記

春を一気に通り越して、夏のような陽気になりました。毎年、心地よい春の期間が短くなっているようです。少し前の話になりますが、3月に3週間ほど、イギリスに行ってきました。以前、入国拒否にあったため、今回は学生ビザを取得し、堂々と入国。10年ぶりだったにもかかわらず、フォーチュンセンターの皆さんは快く受け入れてくださり、また懐かしい人たちとの再会もあり、とても充実した時間を過ごすことができました。乗馬療法だけでなく、障害を持つ人たちの高等教育という観点からもいろいろと勉強になりました。ぜひいろいろな場面で生かしていきたいと思っています。

今年の夏は恒例のウマキャンプの他、帝京科学大学 (山梨)、梅花女子大学 (大阪) の実習や集中講義で忙しくなりそうです。将来のこの領域の発展につながることを願いつつ、学生さんたちに子どもと馬とが持つ力を伝えていきたいと思っています。

(昨年の実習に参加した学生さんたちは、ウマキャンプで活躍してくれています)

(峯崎 友香理)